



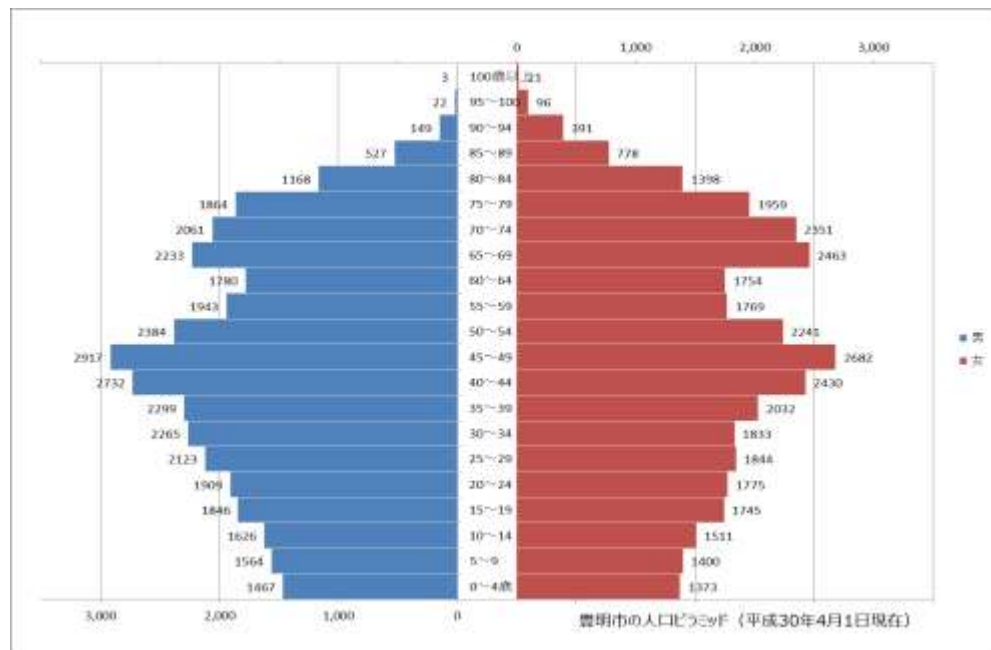
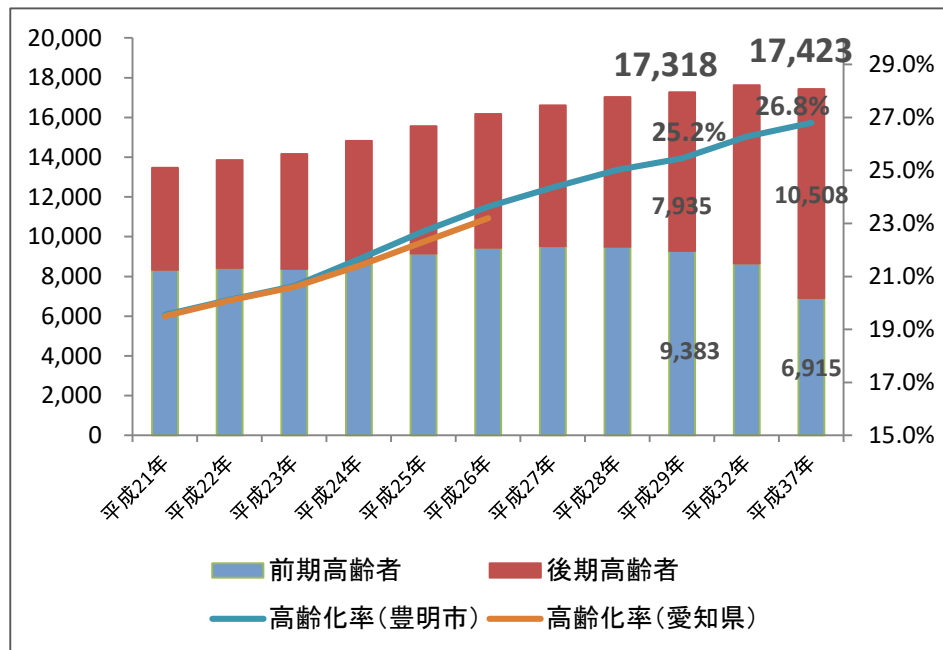
20180921 第136回市町村職員を対象とするセミナー
「総合事業の実施状況を踏まえた課題と対応事例」

「ふつうに暮らせるしあわせをどう支えるか」 地域資源の発掘と新しい価値観の創造を目指して 地域包括ケア「豊明モデル」けやきいきいきプロジェクト

豊明市 健康福祉部 健康長寿課

豊明市の概況

- ・愛知県名古屋市の南東部に隣接するベッドタウン
- ・人口 68,728人 (29,491世帯)
- 高齡者人口 17,484人 (平成30年4月1日現在)
- ・高齡化率 **25.4%** (県高齡化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齡者に人口に山があり、
今後10年の後期高齡者の伸びが著しい地域特性



豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3 (一般病床1,435、回復期床60、療養28)

藤田保健衛生大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪リハ 4

関連師会

- ◆医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4 (259床)

老人保健施設 2 (448床)

訪問介護 5, 通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4 (5ユニット)

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 3 (委託)



藤田保健衛生大学病院

許可ベッド数 : 1,435 床

平均在院日数 : 15,2 日

平均外来患者 : 約 2,100 人/日

医療従事者 : 約 2,600 人

年間手術件数 : 約 11,000 件

退院調整依頼 : 1,500 件/年

年間退院患者数 : 約25,000人

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床
を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

豊明市の近年の取り組み

	医療介護連携	地域包括ケア全般	総合事業	認知症総合支援事業	生活支援体制整備	地域リハビリテーション	地域ケア会議
H23	電子@連絡帳導入 ICTによる情報共有基盤整備						
H26		人材育成研修モデル事業	在宅医療連携拠点推進事業	愛知県地域包括ケアモデル事業			
H27		人材育成事業継続 地域の職能団体組織化支援	豊明団地 けやきいきいきプロジェクト開始		<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域支援推進員配置 ■ 認知症初期集中支援チーム ■ 試行実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1層生活支援コーディネータ配置 ■ 協議体準備 	市オリジナル体操制作
H28		リハビリ・看護師・介護支援専門員の連絡協議会設立		前倒し移行	本稼働	公的保険外サービス取組開始	多職種合同ケアカンファレンス
H29						<ul style="list-style-type: none"> ■ リハ同行訪問開始 	

地域包括ケア「豊明モデル」のあゆみ

愛知県地域包括ケアモデル事業

- ・平成26年度～平成28年度(3年間)
- ・「豊明団地」をモデル地区とし
藤田保健衛生大学・UR都市機構とともに事業展開
「けやきいきいきプロジェクト」
- ・豊明団地概要：
昭和46年管理開始
5 5 棟2,127戸 4,228人 世帯数 2,320世帯
高齢化率 26.2%(除外国人 35.1%)

豊明市と藤田学園の包括協定

平成25年4月30日

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との多分野での連携協力に関する包括協定締結



豊明市とUR都市機構との包括協定

平成26年4月16日

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉拠点化に向けて包括協定締結
- ・全国100団地拠点に選定



URと藤田学園の包括協定

平成26年12月5日

- ・地域医療福祉拠点の形成や、ミクスコミュニティ形成推進に向けた取組みに関する包括協定締結



産官学民の地域包括ケア－豊明団地けやきいきいきプロジェクト

豊明団地ケアネットワークの協力体制

UR都市機構

- 拠点施設の整備
- 学生向け居室の整備

学生・教員の団地内居住と コミュニティ参加



けやきいきいき プロジェクト会議



藤田保健衛生大学

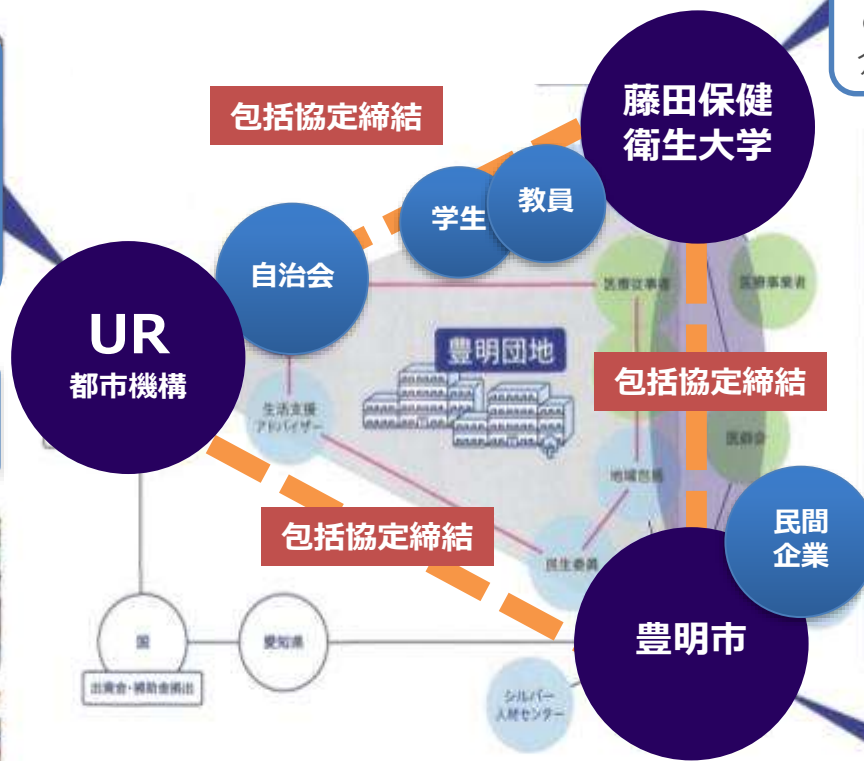
- まちかど保健室の運営
- 学生・教職員の団地居住
- コミュニティ活動支援
- 団地をフィールドとした地域の医療介護人材育成

ふじた「まちかど保健室」



豊明市

- プロジェクト会議の運営
- 民間事業者等の協力要請
- 地域包括支援センターの整備
- 病後児保育室の整備
- 医療介護サポートセンター整備



健康福祉部
健康長寿課

課長1名

介護保険係 6名

介護保険サービス、介護認定、事業所指定指導等
課長補佐兼担当係長（事務職）1名
担当係長（看護師）1名、係員3名（事務職）
非常勤職員3名（事務）、認定調査員9名

共生社会係 2名

老人福祉、施設管理、敬老事業、等
担当係長（保健師）1名
係員1名（事務職・社会福祉士）、非常勤職員 1名

地域ケア推進係 4名

地域支援事業・地域包括ケア全般 **H25年度に新設**
介護予防・日常生活支援総合事業
地域包括支援センター運営、医療介護連携、認知症総合支援事業、
地域ケア会議、生活支援体制整備事業

課長補佐兼担当係長（事務職）1名
係員3名（保健師1名、事務職1名）
非常勤職員3名（看護師、介護福祉士、生活支援コーディネーター）

- ・地域包括支援センター 3箇所
委託（医療法人1、社会福祉法人2）
- ・在宅医療介護連携拠点（豊明東郷医療介護サポートセンター）
共同運営（学校法人藤田学園）

健康推進係 5名

成人保健、特定保健指導 等
担当係長（保健師）1名
係員4名（保健師3名、事務職1名）、非常勤職員



目次

- 1 総合事業の状況
- 2 課題とめざす姿を共有する
- 3 あるものを活かす

豊明市の総合事業のコンセプト

平成28年3月総合事業移行。
通所事業は、まちかど運動教室（一般介護予防）を中心に据え、短期集中的に高い専門性を持つ理学療法士等によるリハビリを行い、廃用症候群からの早期脱却を目指すプログラムとした



市内デイケア事業所による質の高いリハビリ提供

豊明市リハビリ
連絡協議会による
プログラム検討



市内20会場で地域運営のまちかど運動教室



STEP 1 集中介入期（C型）



元気アップリハビリ

3ヶ月から6ヶ月（週1～2回）で、通いと訪問によるリハビリテーションを行い、身体機能の回復を行う。

- 利用回数/全30回
- 実施場所/市内デイケア事業所（4箇所）



通いと訪問を組み合わせた集中的リハビリサービス

元気アップリハビリ 施設案内

施設名	豊明市老人福祉会 豊明区二子老人保健施設	豊明市老人福祉会 豊明区老人保健施設
〒470-0001 豊明市吉孫町榎1番地	〒470-0001 豊明市吉孫町榎30-7	
TEL: 0562-95-2110 FAX: 0562-95-2207 担当: 宇野・平田	TEL: 0562-92-8411 FAX: 0562-92-4774 担当: 野村・森山	
営業時間 10:00~11:30 / 14:00~15:30	営業時間 9:00~17:30	
休 日 4/8・12/1・GW 連休・年末年始	休 日 4/8・12/1・GW 連休・年末年始	
お 金 ○(無料)	お 金 ○(無料)	
お 申 込 別途必要	お 申 込 別途必要	
備 考 喫茶コーナーでドリンク提供(無料)		

※訪問リハビリは、一人ひとりの状態から訪問開始のスタッフが持ちつたがります。

企画にあたっては、豊明市リハビリテーション連絡協議会が、ミーティングを重ね、プログラム内容、評価方法等を協議して決定



STEP 3 生活期（一般介護予防）



まちかど運動教室

総合事業へ移行したことに伴い平成28年4月より実施。

- 地元の集会所、公民館を活用し、歩いて行ける場所に週1回（1時間）の運動プログラムを提供
- 地域が教室を誘致するというスタンスで展開
- 役割分担
 - 地元：地元の合意形成、会場の確保、会場費負担
世話人（鍵の開け閉め、運営補助）の確保
住民への周知（開催スケジュールチラシ作成・配布）
 - 行政：インストラクター派遣、統一チラシ作成
- 事前申し込み不要、当日会場に直接参加
参加費無料、いつからでも参加可能

平成29年度実績

地域会場 16地区20会場 平均30~70人の参加

中央会場 1会場（2教室）平均100人の参加

全会場参加者実人数 約1,200人

豊明市 高齢者一般介護 予防事業

まちかど 運動教室

お近くでみなさんと一緒に運動習慣と筋力を作りましょう!!

「老化は仕方ないこと」とおぼえていませんか？

心身機能を低下させてしまう最大の理由は、「もう年だから」「おつくうだから」と身の回りのことや外出をしなくなることにあります。まちかど運動教室をきっかけに、老化を防ぎ、健康で長生きできる心身をつくりましょう!

対象 おおむね65歳以上の方
男女問いません

場所 市内の地域の集会所・公民館等（詳細は裏面）

内容 1時間程度のストレッチ、筋力アップ体操
椅子に座ったままでも立った姿勢でも可能です

講師 スポーツインストラクター等
（自費で派遣費用負担）

各地区情報：裏面参照

みなさんのためだけの「まちかど運動教室」に関するお問合せは

豊明市高齢者福祉課地域ケア推進係 ☎92-1261



豊明市 高齢者一級介護 予防事業

まちかど 運動教室

お近くでみなさんと一緒に運動習慣と筋力を作りましょう!!

「老化は仕方ないこと」と考えていませんか?

心臓機能を低下させてしまう最大の理由は、「もう年だから」「あつくつだから」と意欲の衰えや外出しなくなり続けることにあります。まちかど運動教室をきっかけに、老化を防ぎ、健康で長生きできるの身をつくりましょう!

対象 おおむね65歳以上の方
※お問い合わせください

場所 市内の地域の集会所・公民館等
(詳細は要約)

内容 1時間程度のストレッチ、筋力アップ体操
椅子に座った状態で、立っただけでも可参加です

講師 スポーツインストラクター等
(1名または複数名参加)

各地区情報：裏面参照

※お問い合わせは「まちかど運動教室」に関するお問い合わせ

豊明市高齢者福祉課地域ケア推進係 ☎92-1261



住民主体の通いの場づくり

地域リハビリテーション活動支援事業の一環として、
専門職と住民ボランティアが協力してオリジナル体操を
収録したDVDを2年がかりで制作

- 第1弾 基本体操 (PT、OT、健康づくりリーダー)
- 第2弾 口腔体操 (歯科医、歯科衛生士、音楽療法士)
- 第3弾 筋力アップ体操 (PT・OT)

やさしい
豊明ひまわり体操
DVD

第1弾 やさしい 豊明ひまわり体操 3分

Chapter1
歯つらつ体操

とよあけ歯つらつ体操

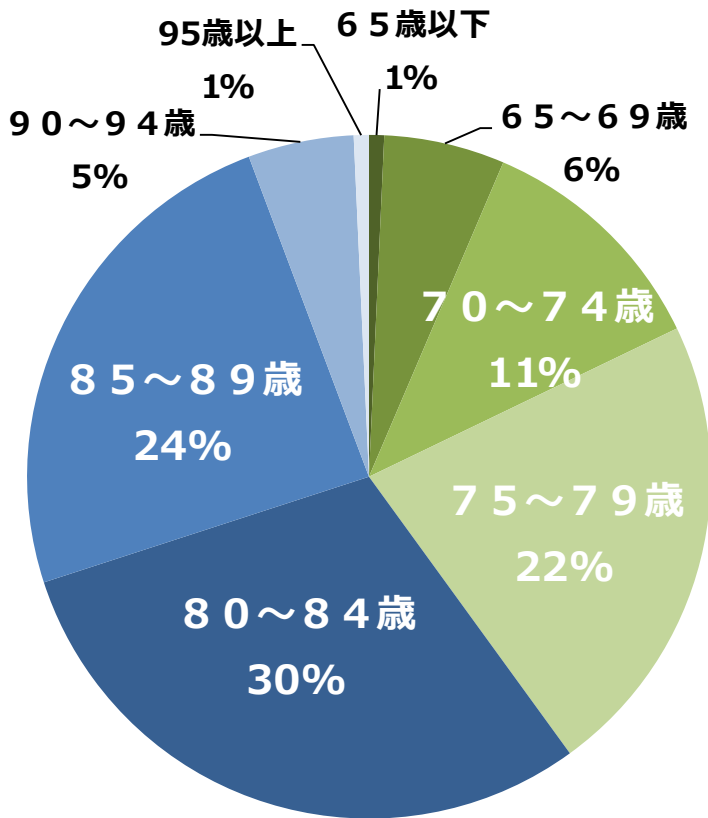
阿野町 阿野町
二里塚から
あいうえお

第2弾 とよあけ歯つらつ体操 7分

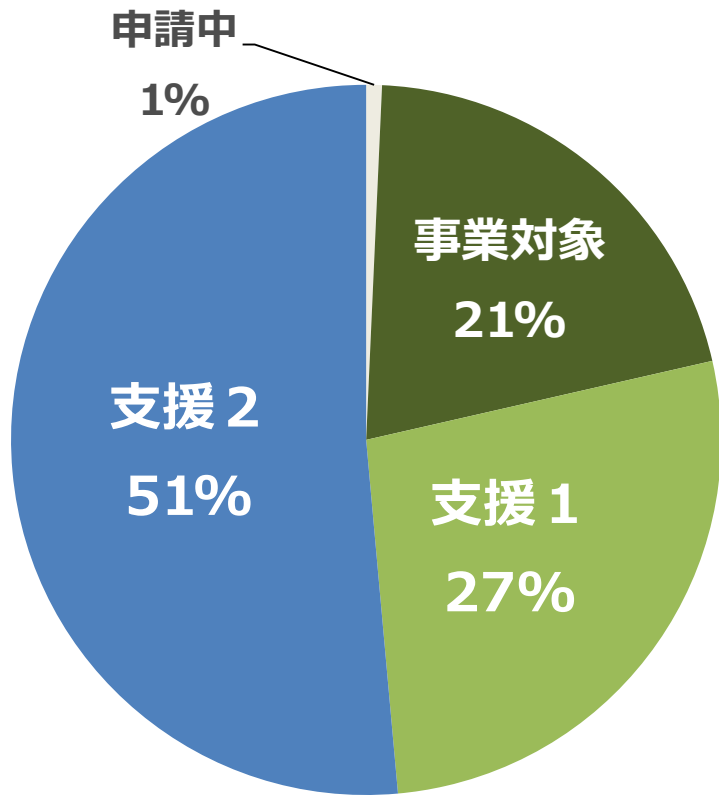
第3弾 とよあけ筋力アップ体操 立位20分座位20分

H29新規契約全ケースの属性 (n=140)

年齢構成

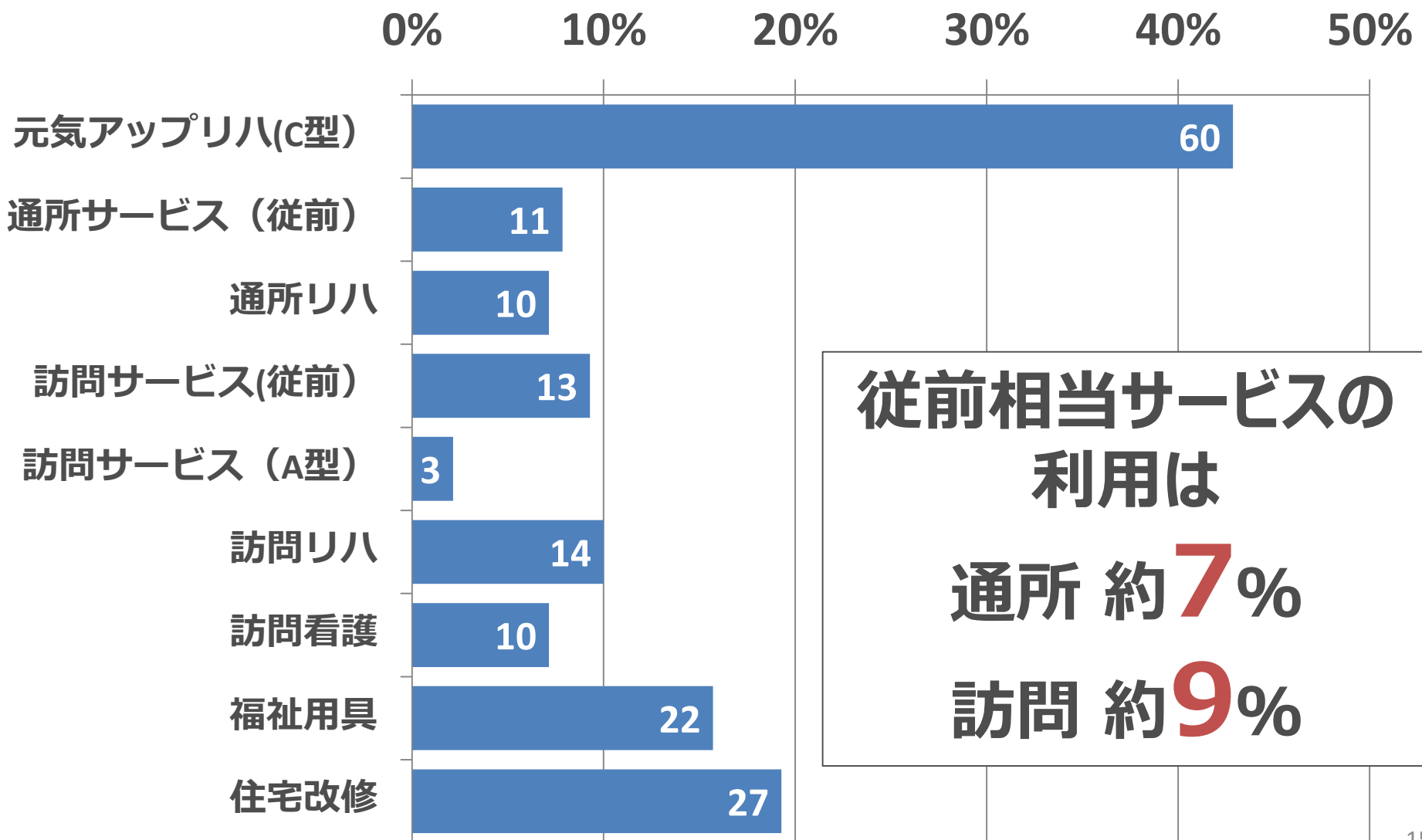


契約時の要介護度



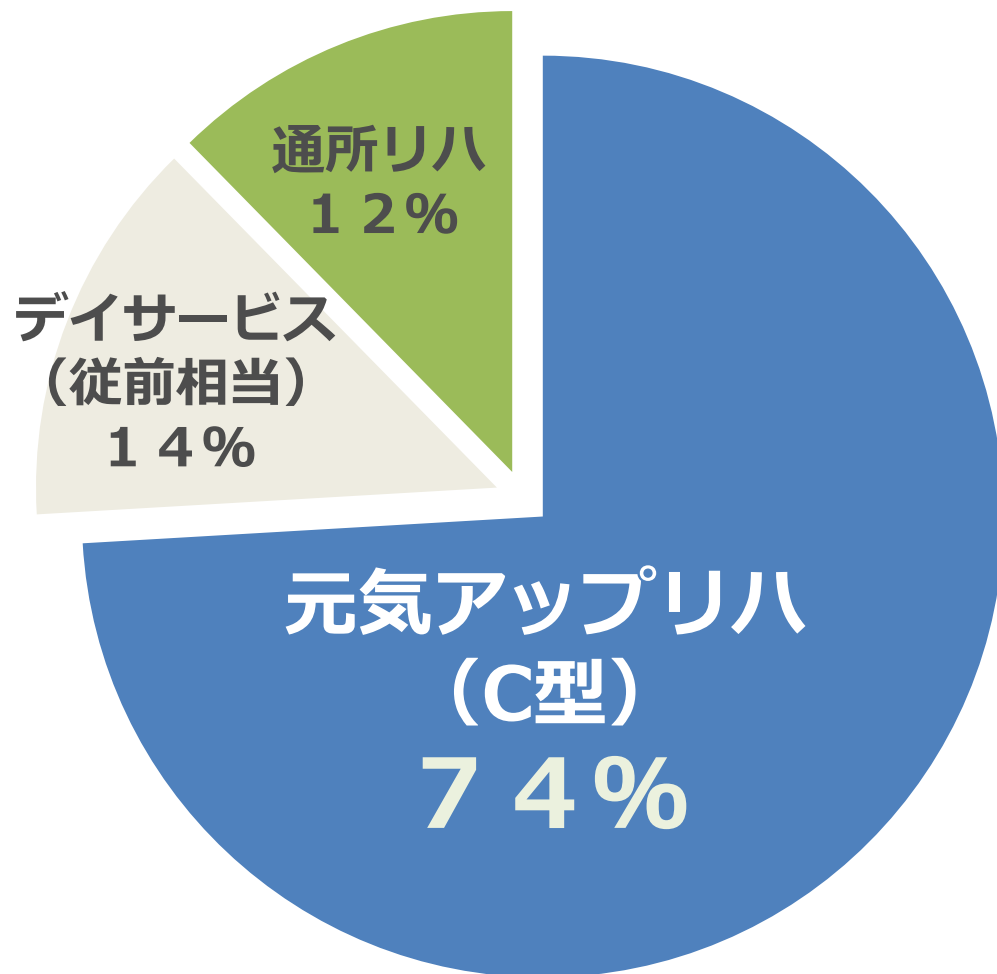
約60%が80歳以上、半数が要支援2

H29新規契約全ケースのサービス別受給率(n=140)



H29新規契約ケースの通所系利用割合(n=81)

平成29年度中に包括が新規契約した利用者のうち通所系サービスを利用した者(81人)



通所利用者の
74%が
C型サービスを選択



目次

- 1 総合事業の状況
- 2 課題とめざす姿を共有する
- 3 あるものを活かす

地域包括ケア構築において陥りがちな失敗①

我がまちの「課題」が見えていない

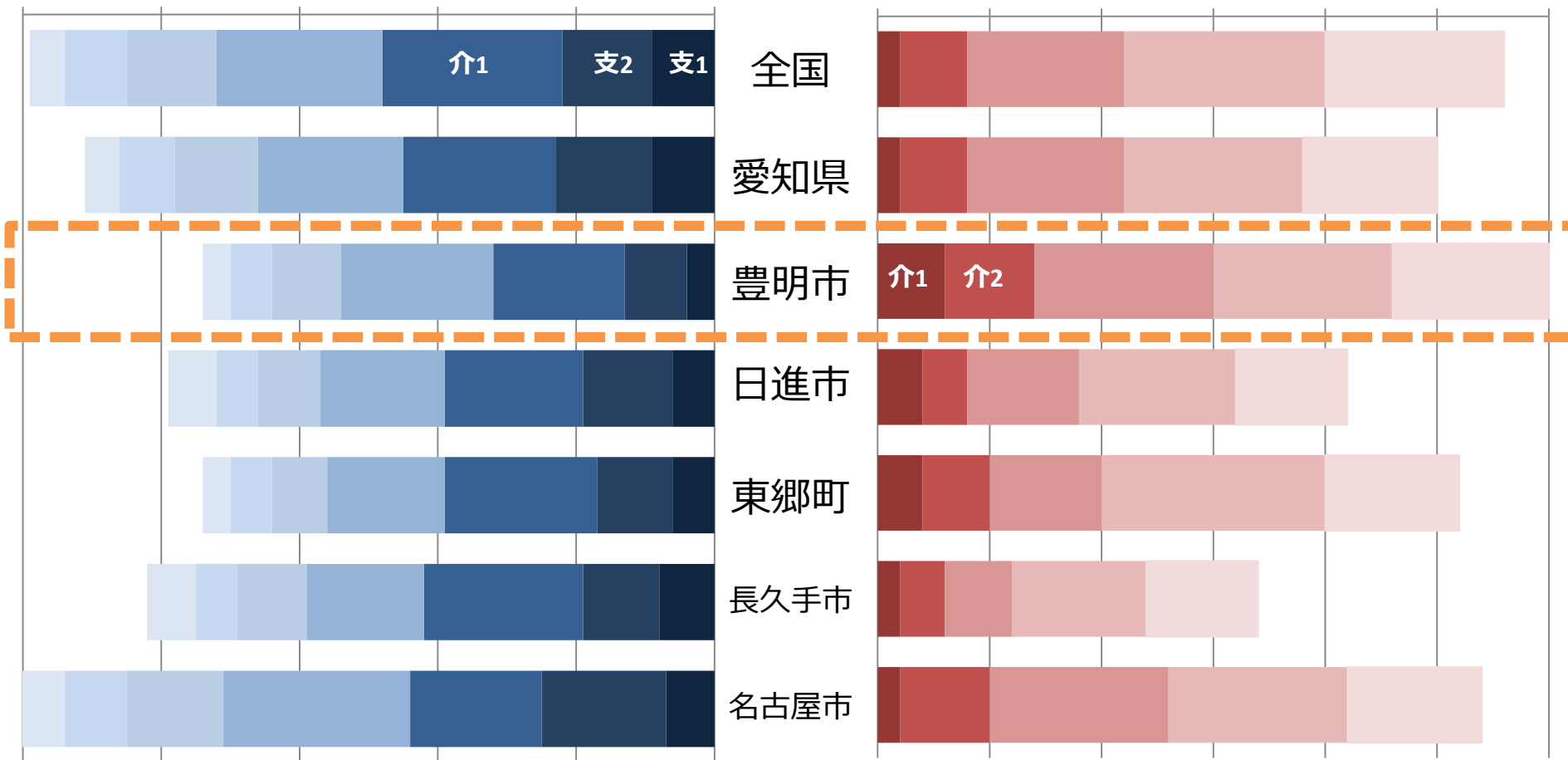
解決すべきこと（課題）が何か分からなければ
関係者と目指す方向を共有できない

在宅サービス

施設サービス

10.0 8.0 6.0 4.0 2.0 0.0

0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0



(時点) 平成29年9月(2017年9月)

豊明市は、他市と比較して在宅サービス利用率が低く、施設サービス志向が高い傾向

医療介護連携に関する政策研究～退院経過実態把握

入院を契機に、新規に介護保険の要介護認定申請した患者について、医療・介護保険レセプトを分析し、患者動向、療養経過を追跡調査

● 介護サービスなしでケアマネがおらず、**自宅と病院を行き来し、重度化**していくケース

● 多科、複数医療機関に**同時受診**し、**主治医が誰なのか分からない**ケース

● 自宅で**同一疾患を繰り返して発症**し、**何度も再入院**するケース

退院支援地域連携実証事業 ケース2 入退院を繰り返したケース

■ケース概要(No.8)

- ・ 本人状況 Bさん 89歳男性 妻と2人暮らし
入院経緯：誤嚥性肺炎（7/26～）
- ・ 介護申請 申請者：娘(市内在住) 申請日：7/31
※ケースワーカーより勧められ申請
- ・ 診療科 保大HP消化器内科



■申請時、娘さんからの聞き取り

- ・ 病院でリハビリ中。リハビリを受けて歩けるようになるという。
- ・ 住宅改修も必要かも知れない、と思っている。
- ・ 前立腺肥大による排尿障害がある。

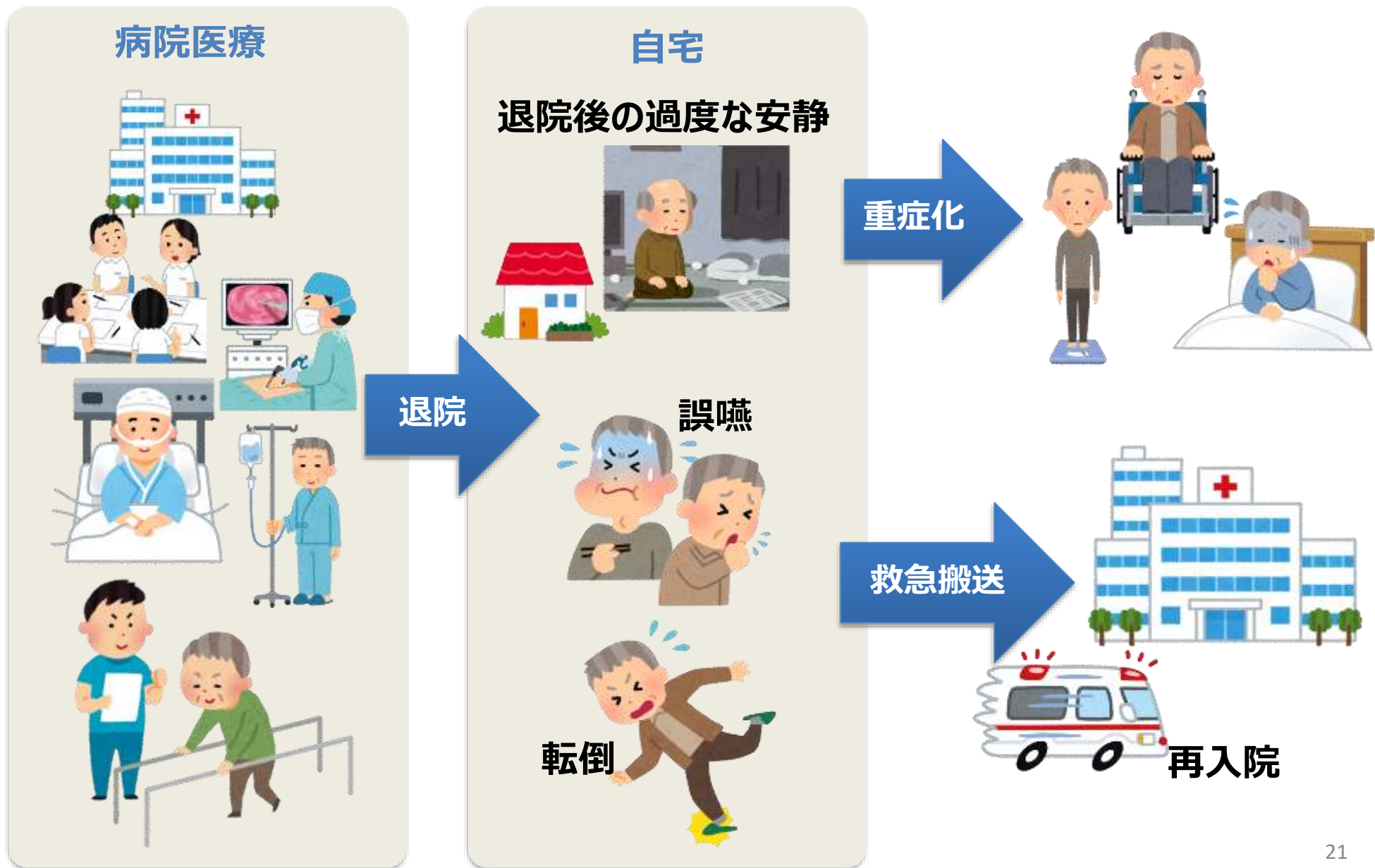
■認定調査結果（一部抜粋）

	身体機能 (ADL)				生活機能 (IADL)		
	○できる	△つかまれば可	×できない		○自立	△一部介助	×全介助
着脱		△		移動	○		
起き上がり		△		移動	見守り等		
座位保持		△		嚥下	見守り等		
立位保持	○			食事摂取	見守り等		
歩行		△		排尿・排便	×		
立ち上がり		△		洗顔	△		
				着崩	△		

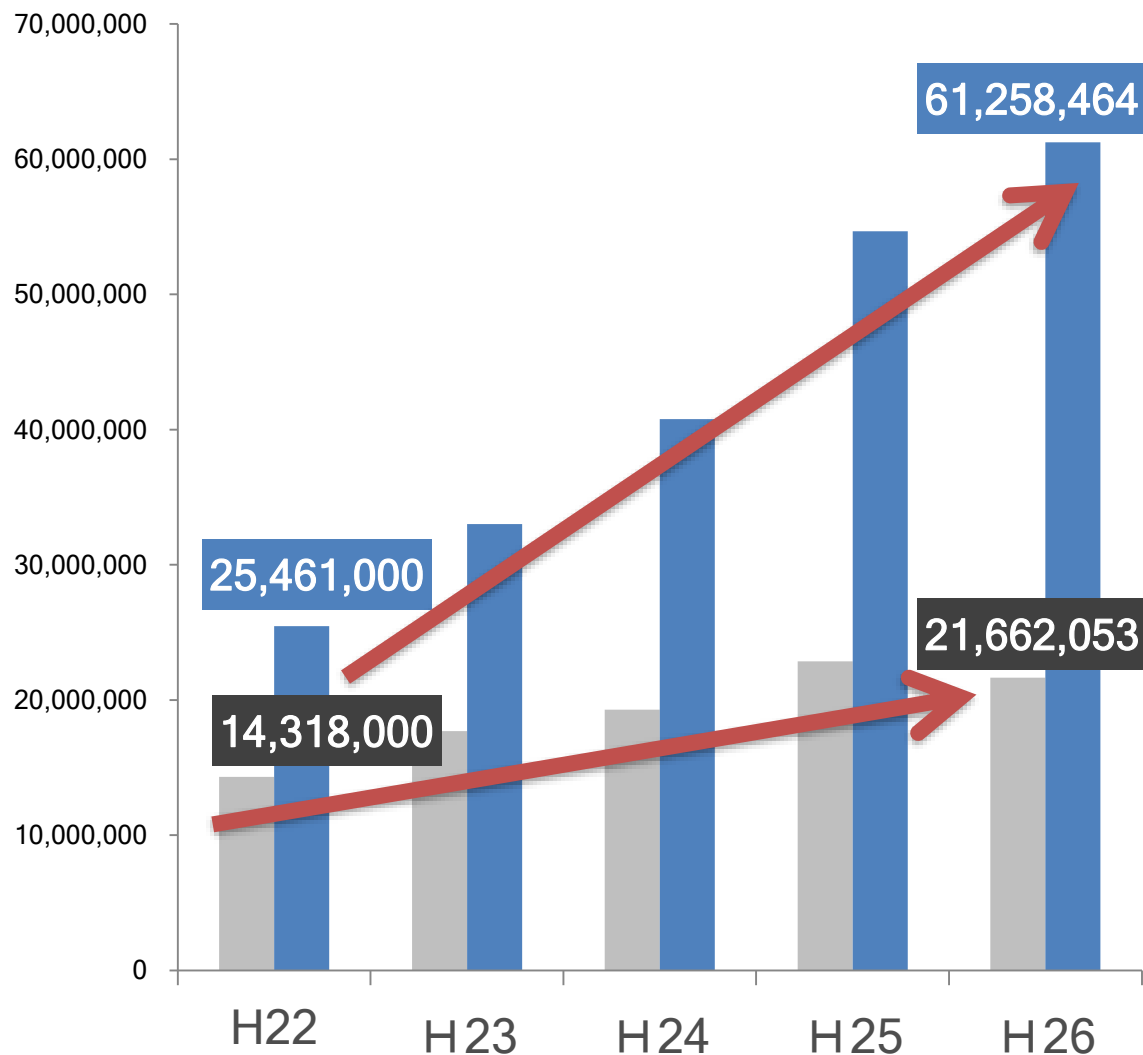
■入院から現在までの動向と支援状況

居場所	保大HP			自宅			保大HP			相山山HP
	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
事項	・入院	・申請	・調査	・退院	・認定	・再入院	・退院	・再入院	・転院	
日付	7/26	7/31	8/11	8/13	9/1	9/26	10/8	10/29	12/7～	
経日数	0日	5日	16日	17日	35日	60日	72日	93日	101日～	
本人状況	・誤嚥性肺炎				・要介護2	・誤嚥性肺炎			・嚥下訓練	
本人・家族支援				↑ 8/14 ・包括訪問	↑ 8/17 ・包括訪問 →居宅紹介 ⇄居宅サービス開始		↑ 10/8 ⇄居宅サービス			

切れ目のない支援とはということなのか？



要支援者の通所・訪問サービス給付費の推移



5年間で

介護予防通所介護

2.5倍

(年平均伸び率35%)

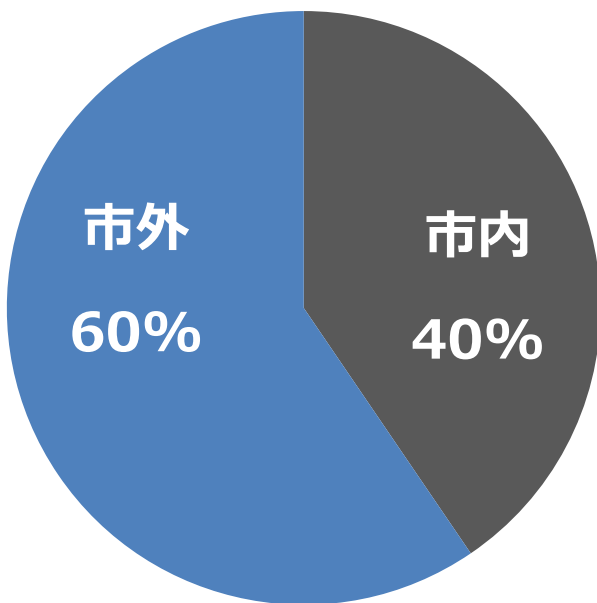
介護予防訪問介護

1.5倍

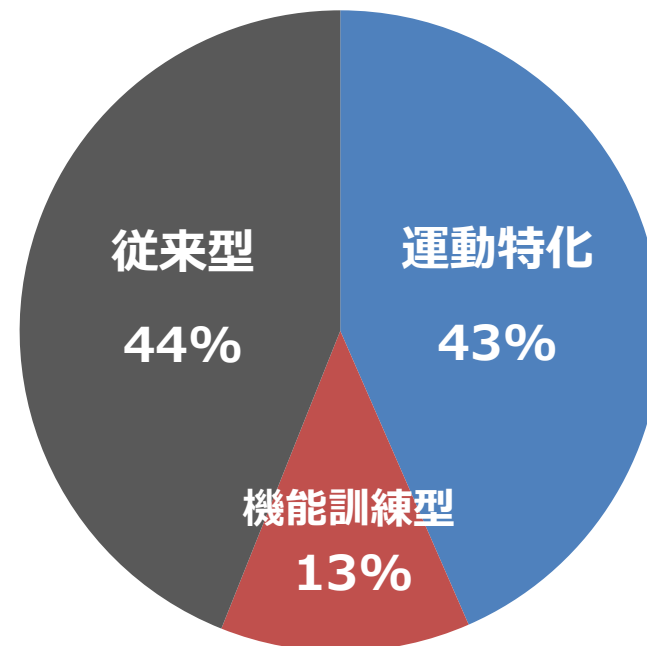
(年平均伸び率12.8%)

要支援者の通所サービス利用状況

サービス事業所



サービスのタイプ

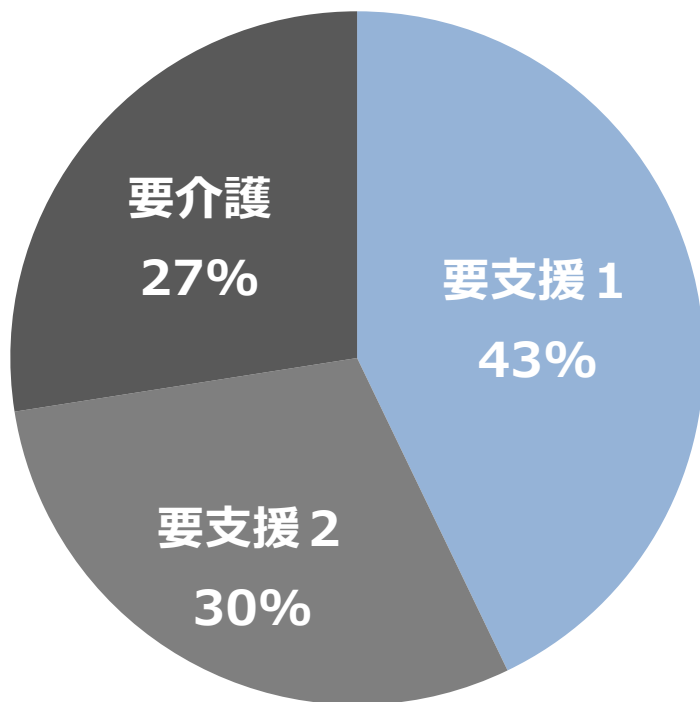


分析

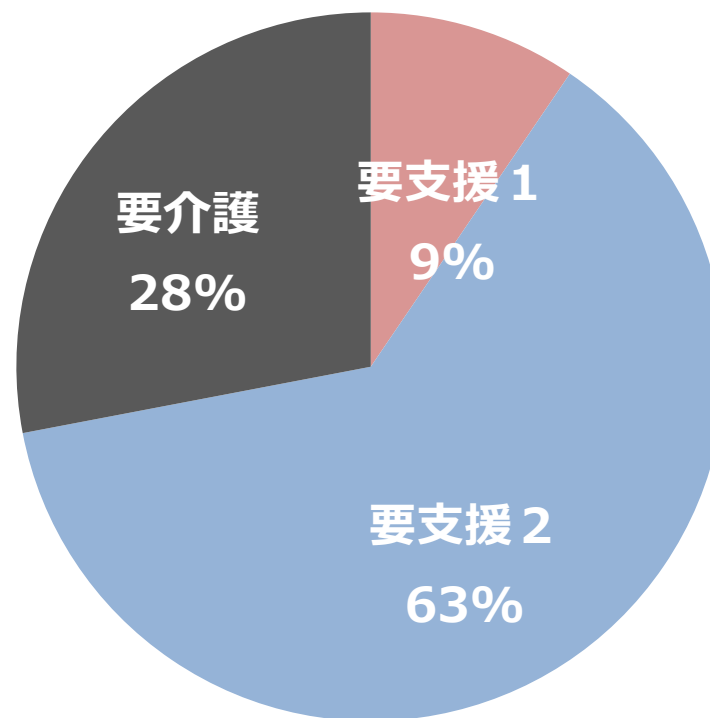
- ①利用者の大幅な伸びは**運動特化デイサービス（半日型）の事業所が多くできたこと**によるところが大きいのではないかと。
- ②**供給が需要を生む構造**になっているのではないかと。

総合事業開始前サービス利用 1 年後重度化率

要支援 1



要支援 2



要支援の 2 人に 1 人、要支援 2 の 4 人に 1 人以上が
わずか 1 年後に重度化している

要支援者のサービス利用 1 年後重度化率の比較

		平成 2 8 年 3 月				
		要支援 1	要支援 2	要介護 1・2	要介護 3～5	
豊 明 市	平成 2 7 年 3 月	要支援 1	42.9%	29.7%	26.4%	1.1%
		要支援 2	9.5%	62.5%	26.2%	1.8%
全 国	平成 2 7 年 3 月	要支援 1	67.9%	19.9%	11.2%	1.0%
		要支援 2	11.3%	67.5%	19.2%	2.2%

要支援者は
1 年後に

要支援 1 の

57%が重度化

27%は要介護

要支援 2 の

28%が要介護

全国値よりきわめて
高い重度化率

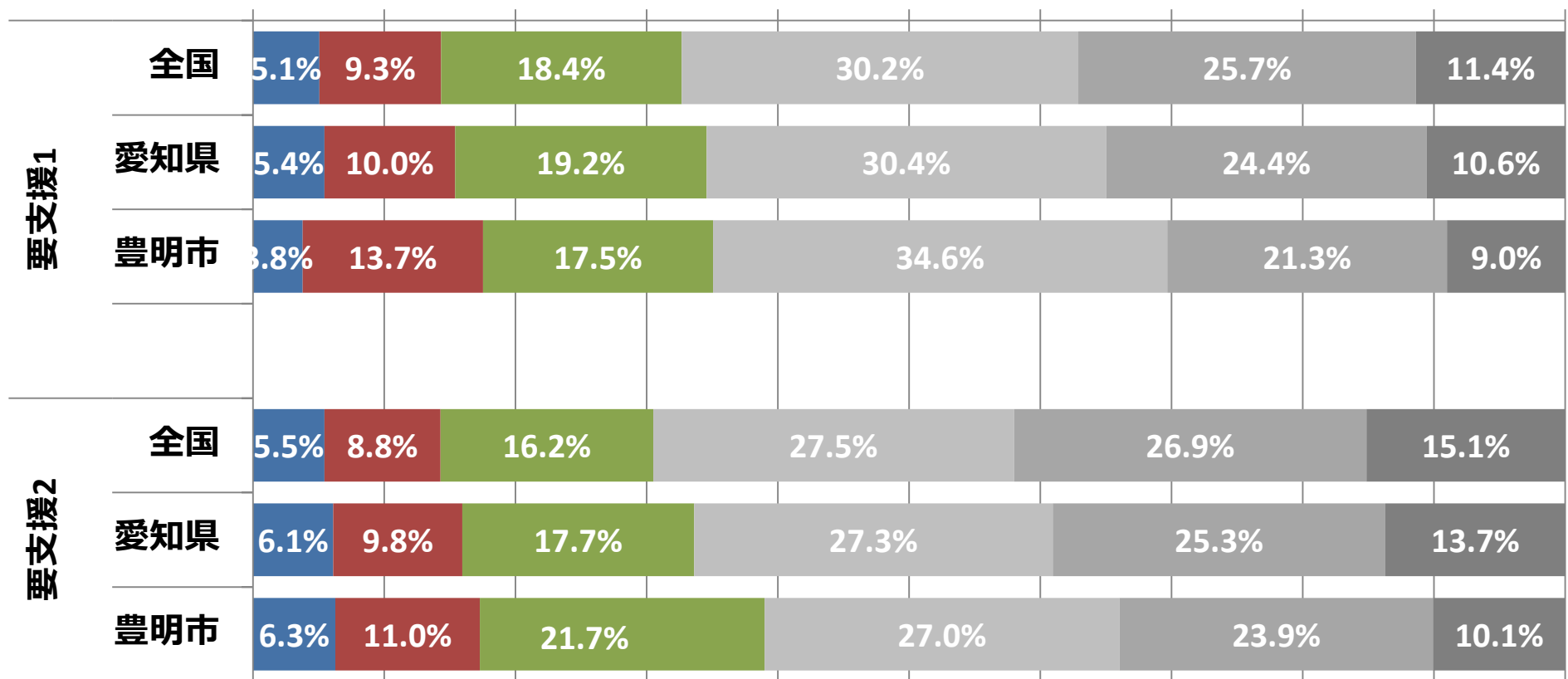
※平成27年度 介護給付費実態調査の概況

表 4 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合

介護度別年齢構成割合 (平成28年4月月報)

■ 65-69 ■ 70-74 ■ 75-79 ■ 80-84 ■ 85-89 ■ 90-

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



全国値より要支援者の構成年齢が若いにもかかわらず、重症化率が高いということは、予防給付のアウトカムが出ていない

地域包括ケア構築において陥りがちな失敗②

既存データを活用できていない

わがまちが、**どの位置にいるか**について**現状認識に乏しい**
手に入るデータは無数にあるが、活用できていない

総合事業以降検討段階での政策判断

急激に伸びている給付費を適正な範囲に抑えるためには
どちらかしかない

豊明市の
選択

報酬単価を下げる
(通い続けることを是としたサロン型デイ)

「緩和型 (A型)」中心

不安

- ・ 安ければ自立を目指さなくていいのか？
- ・ 必要のない利用者の利用を誘発し、結果的に費用増になるのではないか

自立を目指す
(終了を前提としたサービス提供)

「C型 + 一般介護予防」中心

不安

- ・ 介護保険サービスに終了なんてあるのか
- ・ 専門的サービスを終了すると重度化するのではないか

総合事業移行直後の関係者の本音や戸惑い

デイサービスに通い続けることで維持している。終了があるなんて考えられない

移動の足がないので、デイサービスをやめたら行く場所がない

友達が通っているからと、
●●デイサービス（機能訓練デイ）に行きたいと希望される

本人はまだデイサービスほどではないと行きたがらないが、家族は、本人に一日中どこかに通っていてほしいと希望される



ヘルパーの生活援助は、自宅での生活が続く限りずっと必要なサービスである

デイサービスしかない、ヘルパーは止められないは本当なのか？
本人にとって「何が課題」でサービスによって「何を目指す」のか？

地域包括ケア構築において陥りがちな失敗③

高齢者の生活課題からスタートしていない

医療や介護が必要となった**高齢者**に
どのような生活課題があるのか把握できていない

要支援のケアマネジメントの特徴

A D L（入浴、排泄、歩行等）は自立し、I A D L（掃除、洗濯、調理等）の一部に援助を要する程度だから、ケアマネジメントも簡単である。



大きな間違い

要支援者のケアマネジメントこそとても難しい

- 廃用症候群からの脱却には、「活動的な生活」を送る必要があり、本人のもう一度できるようになりたいという「意欲」が欠かせない。
- 軽度者の自立支援型ケアマネジメントは、その人の生活スタイルにアプローチし、行動変容を促さなければいけない難しさがある。
- 本人の望む「家の外の生活」を提供ができなければ、エンドレスのデイサービス利用になり、活動量が足りず重症化する。

多職種合同ケアカンファレンス (保険者主催の地域ケア会議)

市が主催する症例検討会議 (ケーススタディ)
平成28年度から実施。

【目的】

自立型ケアマネジメントの強化
多職種の視点によるケアの質の向上

【頻度】

要支援・事業対象者 (月1回・1.5H・4ケース)
要介護(月1回・1.5H・ミニ講義+3ケース)

【司会】

- ・ 要支援 – 健康長寿課
- ・ 要介護 – 主任ケアマネ・包括職員

【参加者】

包括職員、ケアマネジャー
サービス事業所
医師、薬剤師、PT、OT、ST、管理栄養士
保健師、看護師、歯科医、歯科衛生士、
生活支援コーディネーター、司法書士、
社協、民間企業 (ほか)
報酬なし、オープンで実施、平均50名ほど



本人概要	74歳女性	
世帯構成・住環境	長男家族4人、戸建 (三崎町三崎) 6年前に埼玉県から名古屋→現住所へ	夫は6年前に死去
日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度/A2 認知症高齢者の日常生活自立度/I	要支援2→事業対象者
医療	腰椎圧迫骨折、骨粗しょう症/みずのクリニック月1回受診、 高血圧、腎嚢胞/緑市民病院 歯科1回/3ヶ月	4/4第3腰椎圧迫骨折(保大)→4/25辻村 転院→みずのへ
服薬		
基本チェックリスト	運動3/5、栄養0/2、口腔0/3、閉じこもり0/2 認知症0/3、うつ0/5	
公的サービス	元気アップ集中リハ	4月までデイケア利用していた
非公的サービス		
一日の過ごし方	散歩を日課とし、近医の通院や孫の世話 (小学生) をしている。家族以外の他者との交流少ない 習い事に興味がある	趣味はカラオケ・茶道・華道・琴・花の手入れ・旅行
総合的な課題	デイケア終了後の生活変化から筋力低下、社会生活の低下が心配される。	
目標とする生活	①孫とひまわりバスに乗る ②新しい人間関係ができる 1日: 毎日少しずつ散歩の距離を伸ばす 1年: 一人で乗り物に乗り歌舞伎座へ歌舞伎を見に行く	習い事に興味あり

自立支援型ケアマネジメントの徹底

単に「外出をデイサービス」に、「家事をヘルパー」に置き換えても、重症化は予防できない。自立した生活を取り戻す「課題解決型のサービス提供」となっているか。

安定歩行

家事・役割

意欲減退

コミュニケーション

認知症

交流・参加

食欲

しなくなった活動

どの要素が課題となって今があるのか

この方にとっての「普通の生活」「自立支援とは何か」を常に問う

保険契約必要ない「同行訪問リハ」で目標設定支援

サービス開始前に、サービス導入により達成する生活目標の設定や、サービスのゴール設定を本人や家族と合意形成することが欠かせないが、ケアマネだけでは荷が重い。

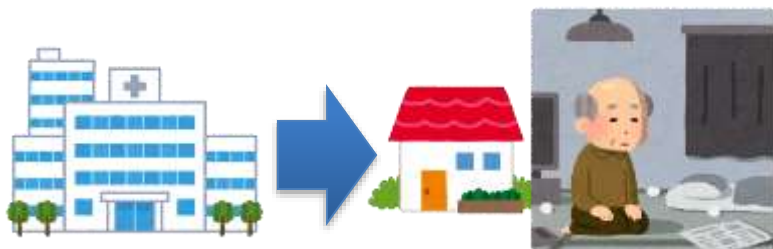
契約なし（地域リハ活動支援事業）でリハ職がケアマネに同行訪問し、側方支援する。

自立支援「マネジメント」の導入時期には プランナーにも利用者にも「アテンド」が必要

自立支援の合意形成に苦慮するケース



退院直後でリハ介入していないケース



リハ同行訪問



サービス利用にあたって適切なゴール設定と本人への動機付け

自宅・周辺環境や外出評価、目標の設定

民間サービスや福祉用具利用導入を支援

期間や終了が合意形成された保険利用となる

地域包括ケア構築において陥りがちな失敗④

**事業をバラバラでとらえ
各事業の関連性が見えていない**

「国から示された事業をどのように構築するか」という
手段に振り回され、それぞれを別事業として実施している

多職種合同ケアカンファレンスから政策へ

見えてきた課題

利用者や家族が自立支援を理解してくれない

ケアマネのアセスメントの技量の差が大きい

訪問による栄養指改善指導をしてほしい

送迎つきで負荷が少ない運動の場が必要

送迎つきで、一人でも楽しめる外出先がないか
自分で買い物したいが、行き帰りが辛い

男性や知的な活動を好む方が
参加したくなる通いの場がない

解決に向けた政策へ

連携強化

リハ職によるケアマネ同行訪問
(地域リハビリテーション活動支援事業)

他の職種が把握したい項目を網羅
した共通アセスメントシート作成

公的 制度化

市町村特別給付の創設

送迎付き一般介護予防事業の創設

資源 発掘

民間企業との連携
保険外サービスの創出・活用促進

健康麻雀、プレミアムサロン等

多職種合同ケアカンファレンスですべてがつながる

わがまちの
地域包括ケア
目指す方向の共有
(規範的統合)

高齢者の
生活課題の把握
(地域ケア会議)

専門性の技術移転
専門性の多角的向上
(医療介護連携)

制度の創出・修正
(政策立案)

多職種合同
ケアカンファレンス
(地域ケア個別会議)
の効果

自立支援型
ケアマネジメント
(総合事業)

足りない資源の気づき
(生活支援体制整備)

インフォーマル資源
の共有
(生活支援コーディネーター)

認知症の
アセスメント力向上
参加できる場の確保
(認知症地域支援)

豊明市の総合事業（通所サービス） 開始当初のイメージ



STEP 1 集中介入期

元気アップ集中リハビリ
(短期集中・指定)

STEP 2 回復期

いきいき教室
(緩和A型・委託)

STEP 3 生活期

- ・まちかど運動教室
- ・地域サロン
- ・ふれあいミニデイ
- ・大人の学校
(一般介護予防事業)
(地域介護予防活動支援事業)

Start

6Month

1Year

Goal

総合事業開始後の支援イメージの変化

多様な資源の活用による参加・外出の場の重層的な提供

一時的な
活動追加

PLUS 集中介入期(非日常)

元気アップ集中リハビリ
(公的保険サービス・総合事業)



日常生活へ移行



BASIC 基本メニュー(日常)

- ・地域の運動教室・サロン
- ・趣味のサークル、友人づきあい
- ・普段の家事等の役割
- ・市場サービスの利用
(フィットネスクラブ、ショッピング、娯楽、喫茶店、温泉、旅行)



以前の暮らし
普段していたこと
しなくなったこと

専門的支援Start

3~6Month

1Year

公的保険サービスと保険外サービスを当初から併用利用で支援開始
暮らしの場における外出を促すことで活動量を増やし、普通の暮らしへ戻していく

もう一度元のふつうの暮らしに戻すための「期間限定の支援」であることをサービス利用前に説明

豊明市介護予防・日常生活支援総合事業
要支援者・虚弱高齢者向け
元気アッププログラム

●年々ともに生きるにもおっくつになり、家事や外出が難しくなってきた方
●体に同じじもりがちな、足腰の筋力の低下が心配される方
●体力を上げて、もう一度お出かけを楽しめるようになりたい方

もう一度「元のふつうの暮らし」を取り戻す「6ヵ月集中プログラム」の流れ

一時的な活動追加
PLUS 短期集中メニュー
元気アップ集中リハビリ
あったかサービス
まごころサービス

日常生活へ移行

以前の暮らし
BASIC 基本メニュー
・らくらす、まちかど運動教室、ちやっと
・趣味のサークル、友人づきあい、普段の家事等の促進
・民間サービスの利用による健康維持
(フィットネスクラブ、ショッピング、喫茶、喫茶店、温泉、旅行)

専門的支援スタート 3ヵ月～6ヵ月 1年

短期集中的にリハビリに取り組み、日常生活においては、買い物、散歩、洗濯などの家事や散歩、外出なども積極的にを行い、生活全般におけるお悩みを徐々に解消していきます。

あなたの「ふつうの暮らし」をとり戻すため、ぜひ活用下さい。

PLUS 短期集中メニュー
短期間の「リハビリ専門サービス」
元気アップ 集中リハビリ

リハビリ専門員が一人ひとりにあったリハビリプログラムを立てます。
3ヵ月～6ヵ月(週1～2回)集中的に、週いと訪問によるリハビリテーションを組み合わせて、元の暮らしに戻していきます。

- 利用回数/全30回(週1回の利用でおおむね8ヵ月)
- 実施場所/豊明第二老人保健施設(豊明町) 介護老人保健施設キョア北苑(大府市) 豊明整形外科内科クリニック(豊明町) 豊明老人保健施設(豊明町)
- 内容/体力測定、個別リハビリプログラムの作成 筋力・バランス感覚の向上、自宅及び周辺環境でのリハビリ
- その他/送迎あり

BASIC 基本メニュー
送迎つき日替り介護予防教室
らくらす

準備運動・口唇機能向上や、半歩・踏み歩きのための器具、認知食やレクリエーション・ゲームなども行います。ご自身の体調やご興味に合わせてご参加下さい。

- 実施日/平日午前中
- 実施場所/老人福祉センター(若林区南1F)
- 料金/無料
- 内容/健康保険と日替り専門員、音楽療法、カフオケを使った体操、外出プログラム
- その他/送迎バスによる送迎あり

BASIC 基本メニュー
歩いて行ける地域の身近な運動の場
まちかど運動教室

地域の歩いて行ける身近な運動の場で週1回1時間の体験に夢中して体力を維持します。

- 開催回数/週1回(1時間) 毎月2回開催
- 利用料金/無料(要申込)
- 実施場所/豊明市中央公民館 若林区公民館
- 内容/各スポーツインストラクターによるストレッチ、軽運動

※あなたの地域のあじろのまちかど運動教室についてご質問は各町までお問合せ下さい。

PLUS 短期集中メニュー
できない間の
お手伝い
あったかサービス
まごころサービス

日常生活へ移行

できなくなった家事を、また自分でできるようにするまでの一時的なお手伝いをします。

- 内容/掃除、洗濯等、身体にかかわらない生活援助
- 利用回数/週1回～2回(1時間程度)

BASIC 基本メニュー
暮らしの困り事をお手伝い
おたがいさまセンター
ちやっと

生活のちょっとした困りごとを、「お互い様」の気持ちで、社員の生活サーターがサポートします。

- 内容/ゴミ捨て、居るさ、買い物代行、郵便物の送付、簡単な掃除、外出時付など、(その他)
- 料金/30分以内 250円
1時間以内 500円
- 実施場所/豊明市おたがいさまセンターちやっと (若林区南三 公民館1F、みらいの森 豊明市の市民センター)

※その他、日替り介護予防、健康づくり講座を開催しております。お気楽に問合せ下さい。
【問い合わせ】 健康長寿課 (0562) 92-1261



目次

- 1 総合事業の状況
- 2 課題とめざす姿を共有する
- 3 あるものを活かす

地域包括ケア構築において陥りがちな失敗⑤

無いものねだりに陥りがち

「協議体」や「生活支援コーディネータ」等、
ないものに目が向き無理やり作ろうとしがち
「ないものねだり」ではなく「あるものさがし」へ

使える資源は地域に無数にある

公共関係

地域・NPO

協同組合

民間企業

場所 集会所・公民館など 公園・池・史跡 ゴミ置場など	健康 地域の集い 老人クラブサークル	交流 空き家改修 地域拠点	食事 喫茶店・居酒屋・回転 すし ファミレス・牛丼屋	宅配 弁当・すし・ピザ
健康 貸館施設の定期活動 まちかど運動教室	健康 ウォーキングG ノルディック 史跡巡り 朝のラジオ体操	健康 たまり場 サークル活動	食料品 コンビニ スーパー 八百屋 果物屋 菓子店 たまご・お米・牛乳屋	美容 理美容院 クリーニング屋
移動 市のバス停・ルート 福祉バス停・ルート	生活支援 自立生活支援 ボランティア	生活支援 おたがいさまシート くらしたすけあい	薬・生活用品 薬局・ドラッグストア めがね屋・補聴器 100円ショップ	趣味 楽器・カラオケ店 本・ビデオ・カメラ 屋 花・ペット屋
学び 出前講座	交流 各種地域イベント 夏・秋祭り、文化祭 おこしもん・餅つき	食事 けやきの森 地産地消食堂	健康・学び フィットネスクラブ スイミングスクール カルチャー教室 公文	生活支援 家事代行・便利屋 ゴミ処理 警備・見守り
お金 各課助成金 人材 シルバーセンター アクティブシニア	防災 避難所マップ 各区情報マップ	広報 健康のとも	移動 各民間バス停ルート タクシー会社料金表 セニアカー 自転車屋	その他 ゼンリン タウンページ 新聞店 文具屋

生活支援コーディネーターの活動

生活支援コーディネーター

第1層 社協（専任1）市（兼任3）

第2層 おたがいさまセンターちやっと（専任2）

地域包括支援センター（兼任3）

① 資源把握と創出

地域資源の把握

活動・場所・人などの情報あつめ

地域の集会所等でのサークル活動、お店の貸スペース、高齢者がよく行く店、使うサービス等を把握



足りない資源の創出

健康マージャン教室

市内5会場 男性の閉じもり予防
運営はコーディネーターとボランティア
簡易ルール。
できる方は、
教える側に



喫茶店の見守り「ホッこりカフェ」

市内60箇所すべて
訪問説明
常連客が増えるよう周知(市)
常連客の見守り喫茶店として位置づけ



地域ぐるみの支えあい体制づくり

② ネットワーク構築

住民主体の支え合いのしくみ 豊明市おたがいさまセンター「ちやっと」

ちょっとした困りごとを地域の住民が手助けするしくみ（30分250円）。
南医療生協組合・コープあいち・JAあいち尾東農協・豊明市の共同で事業運営。
第2層生活支援コーディネーターを配置



24時間コールセンター対応 見守りセンサー「ミルク」

人感センサー、緊急ブザー付き携帯端末を生活支援コーディネーターと、コールセンター職員が自宅訪問して設置。家の中・本人・家族の様子がわかるため抱えている問題を把握。支援者間のネットワーク構築



協同組合の力を知る

住民主体の支え合いの仕組みを創出するため、すでに長年支え合い活動を地域で実践してきた協同組合3団体と市が協議を重ねる

○協働で取り組む課題

これまで実践してきた支え合い活動を住民に見える形にし、支え合いに参加する住民の輪を広げていこうと合意

コープあいち



購入品を無料配送・電話注文・くらしたすけあいの会

JAあいち尾東農協



地産地消の食堂・ミニデイ・けやきの会

南医療生協組合



空き家を改修し、地域の集いの場へ・おたがいさまシート

住民主体の支え合いのしくみ

豊明市おたがいさまセンター「ちゃっと」開設 (29.11.1)



運営主体

南医療生協組合(事務局) ・ コープあいち ・ JAあいち尾東農協 ・ 豊明市 (健康長寿課)

事業内容

地域組織と一体となった「おたがいさまの輪」の復活
ちょっとした困りごとを住民が手助けする
「おたがいさま」のコーディネート (30分以内250円)

サポーター登録人数 (平成30年8月現在)

138名

活動状況 (平成30年7月分)

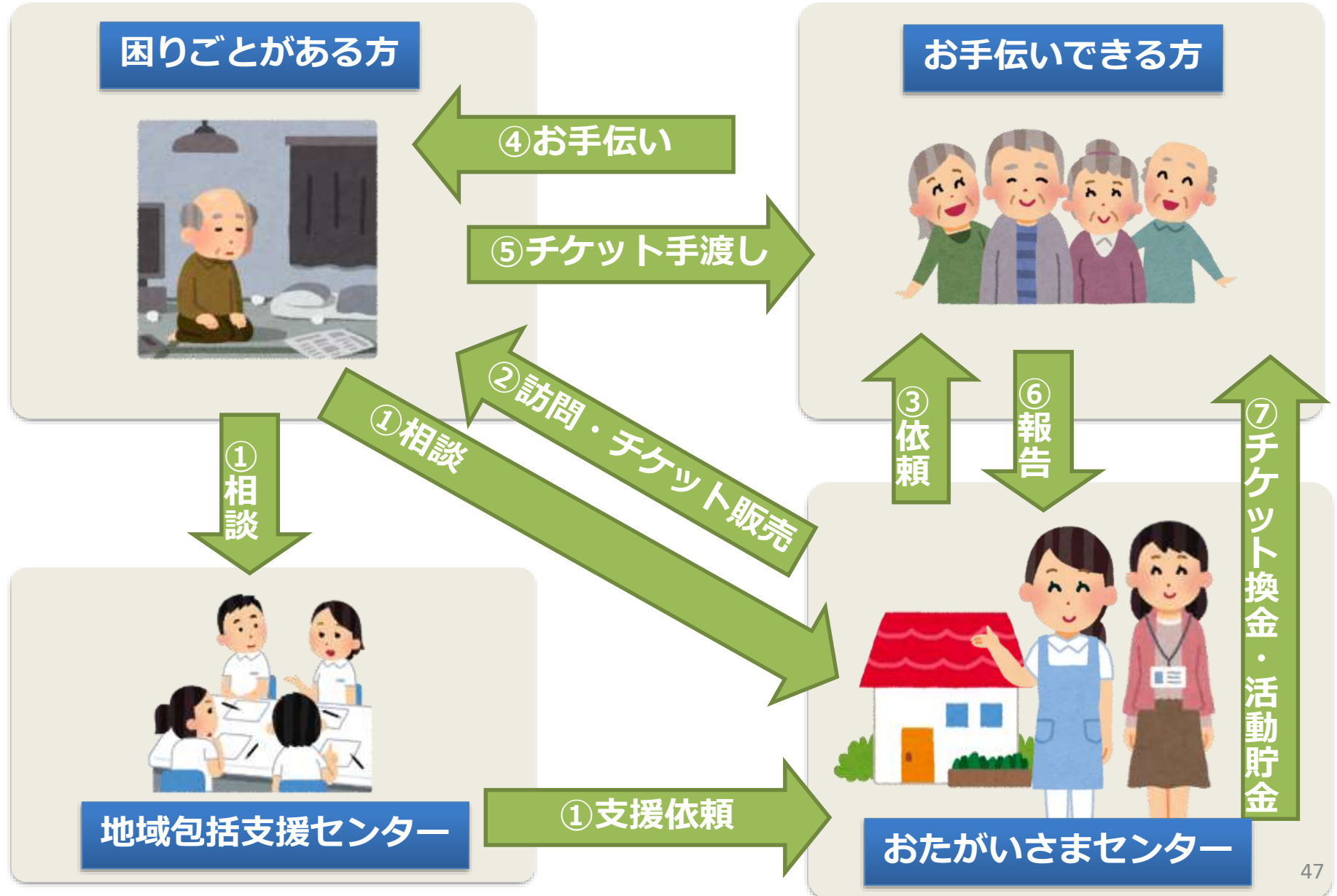
利用者数 36名 (延べ136名)

活動サポーター 44名(延べ160時間)



**依頼の約半数が高齢者本人からの依頼
サービスではなく住民の互助活動として展開**

豊明市おたがいさまセンター「ちゃっと」のしくみ



こんなにあったのか！高齢者の困りごと おたがいさま活動の例

買い物

付き添い
代行



掃除・洗濯

換気扇、窓ふき
浴槽、トイレ
エアコン



ごみ出し

可燃、不燃
資源ごみ
仕分け
ごみ出し



食事の準備

下ごしらえ
調理
調理補助



庭・自宅まわり

草とり、水やり
庭木の簡単な枝落とし
観葉植物の株分け、
間引き
家庭菜園の作業補助



その他なんでも

敷物の交換
カーテンの取り付け
物置小屋の簡単な修理
突っ張り棒の取り付け
重い家具・荷物の移動
郵便物の投函代行
振込手続き
郵便物の仕分け
声かけ（服薬等）



外出同行

外出付き添い
通院同行
大学病院受診支援



民間サービスの力を知る

市内には使える資源がたくさんあるはず

例えば・・・

- シニア世代が多く通うフィットネスクラブ
- 歩いて行けて高齢者のたまり場となっている喫茶店
- リサイクル処理業者によるお片付けサービス
- シニア向けの趣味・習い事



フィットネスクラブのメニュー



市内に70店舗以上ある喫茶店



リサイクル処理業者によるお片付け

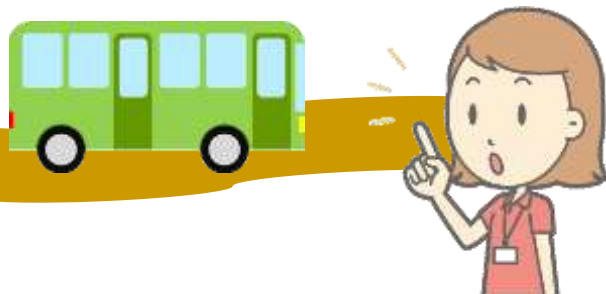


シニア向けの習い事

市場の民間サービスの活用のきっかけ①



市外温泉からの無料送迎バス



隣接市（名古屋市緑区）の複合温泉施設の送迎バスが、豊明市内の一部の地域を走っているのを職員が発見。しかし乗車率が非常に悪かった。



送迎バスがある民間施設は、高齢者が毎日外出できる場所になり得ると考え、すぐに市からアプローチ。バスの乗車率向上の協力(住民への周知)を申し入れた。



定例ミーティングを重ね、送迎バスのチラシ、販促用の割引チケット等を共同で制作。地域住民が集まる場で、職員が直接配布し、効果を検証した。

市場の民間サービスの活用のきっかけ②



買った商品を無料配送するスーパー



団地プロジェクトで、買い物は自分の目で見て選びたいが、買った商品を持って階段を昇ることが難しく、一度にたくさん購入できないというニーズを把握。

駅前に店舗を構えるコープに市からプロジェクト会議への参加を依頼。従来の個人宅配の使いにくさ等、高齢者のニーズを共に検討、新たなサービスの検討を重ねる。

店舗で購入した商品を無料でその日のうちに配達する「ふれあい便」をスタート。その後電話注文も対応。サービスを使った買物方法を市がケアマネや住民に周知。





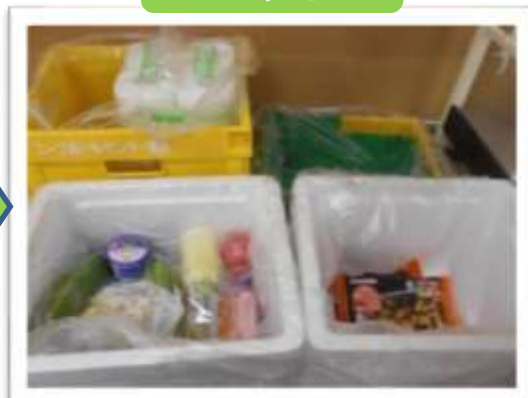
生活協同組合
コープあいち

ふれあい便

受付



セット



保冷



配送



お届け



民間事業者との協議の場・サービス開発

高齢者の暮らしにくさを解決する生活支援や健康寿命延伸に寄与するサービスを展開する民間企業に市から声を掛け協議の場を設けた。その後、個別に市とサービスの協議を重ねた。

参加者

リサイクル業者、フィットネスクラブ、掃除サービス業者、食品メーカー、スーパー、天然温泉施設、カラオケ施設、学習塾、介護事業所、地域包括支援センター など

協議内容

国の動向、市の高齢者の現状、高齢者のニーズ、現行の民間サービスの利用のしにくさなどを協議



民間事業者と連携により実施した事業の一例



温泉施設で理学療法士による健康講座
楽の湯(株)ナカシロ



カラオケボックスを利用した体操教室
(株)東海第一興商



インストラクターによる健康講座
Curves前後駅前店(株)だるま



市主催の運動教室での健康チェックと商品説明
森永乳業(株)中部支社

公的保険外サービス創出・促進に関する協定締結

平成29年2月15日民間企業9社と協定締結。

その後参加企業が増え、計13社と締結済み。

行政の役割：連絡会議の開催、住民への周知

事業者の役割：高齢者のニーズ把握、サービスの創出

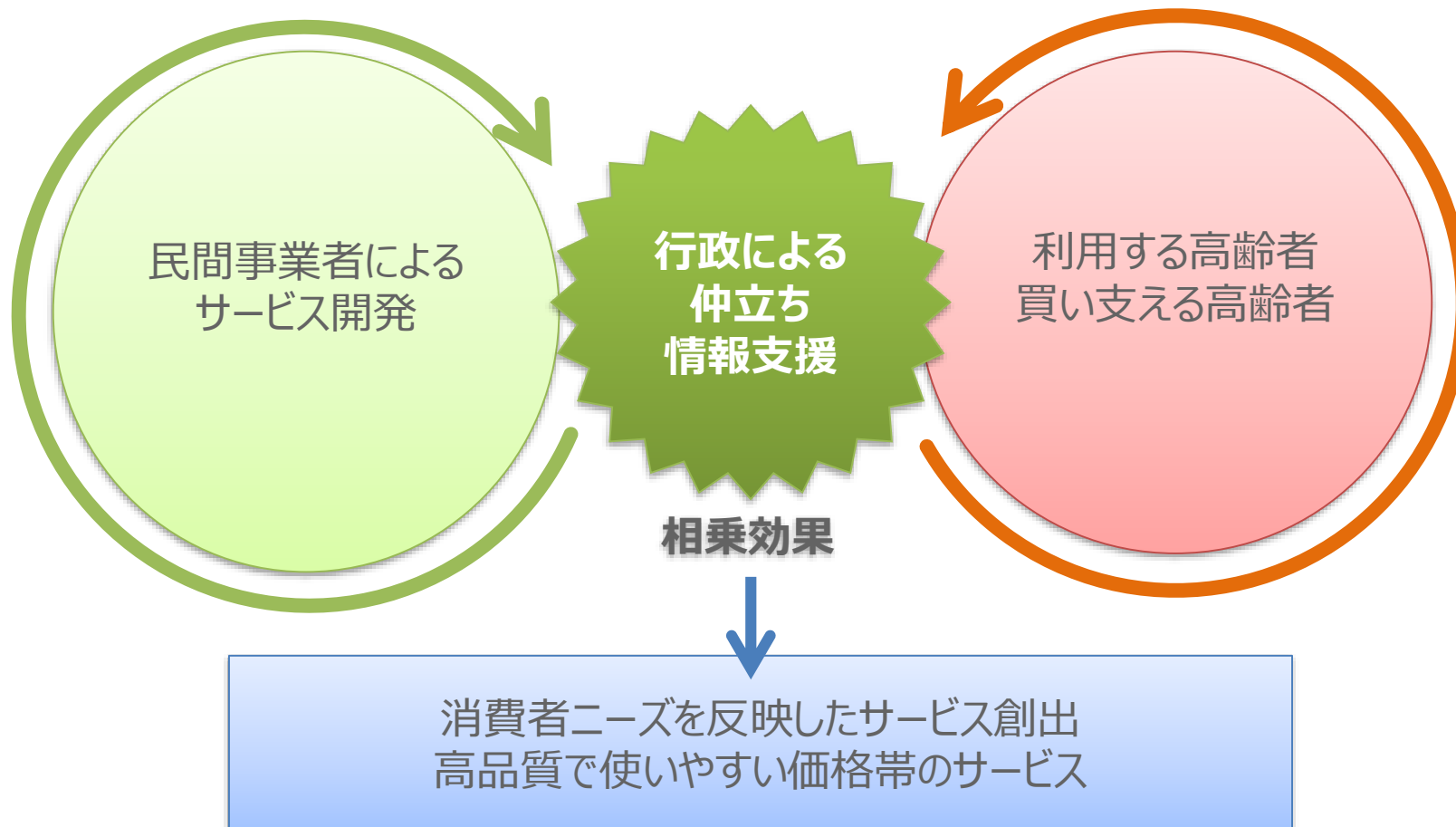
事業者名	サービス
アイエムメディカル株式会社 FITNESS PARK5	フィットネス・健康講座
生活協同組合コープあいち	購入品無料配送
株式会社コパン コパンスイミングスクール豊明	介護予防教室
株式会社KOMOKA ダスキンホームインステッド三河安城ステーション	生活支援・家事援助
株式会社だるま Curves前後駅前店	フィットネス・健康講座
株式会社東海第一興商 カラオケクラブDAM	介護予防教室
株式会社ナカシロ 楽の湯みどり店	無料送迎バスによる外出支援・入浴・健康づくり
株式会社中西	お片づけ・生活支援
森永乳業株式会社中部支社東海支店	健康教室
株式会社スギ薬局	簡単お掃除、高齢者雇用
株式会社コナミスポーツクラブ	シニア向けプログラム「oyz」
株式会社宮地楽器	YAMAHA青春ポップス
アイシン精機株式会社	オンデマンド型送迎サービス



ヘルスケア産業・公的保険外サービスの創出促進

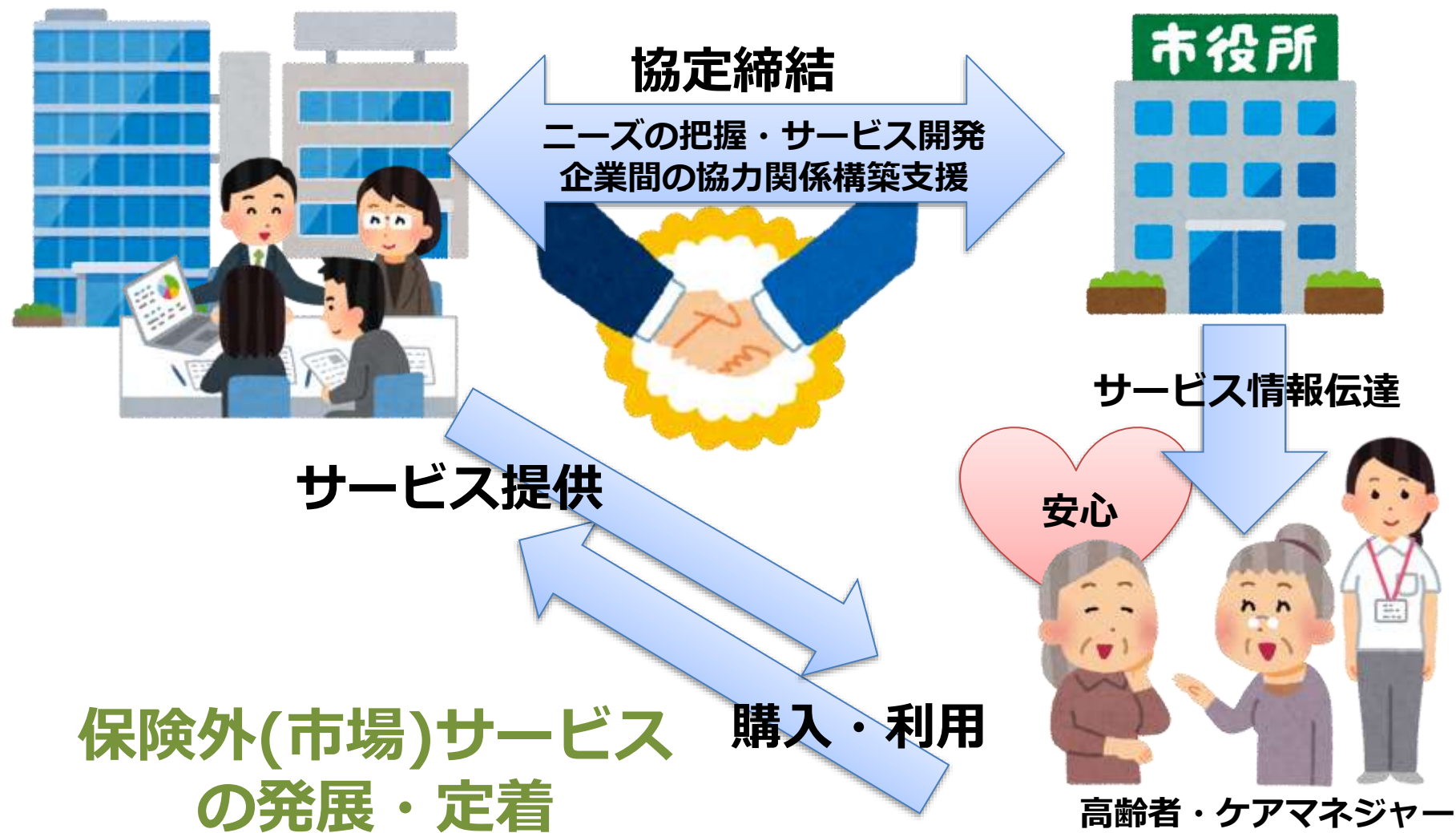
どうやって高齢者にサービスを知ってもらえるのか
高齢者が何を望んでいるのかわからない

どんなサービスがあるのか分からない
利用するきっかけがない



民間企業による 高齢者向けサービスの開発

自治体による サービス創出・活用支援



高齢者の生活を支えるサービス創出の難しさ

民間企業が高齢者の「生活実態」や「しづらさ」「使いにくさ」を理解していない

例えば・・・



設備・環境

急すぎる階段
手すりがない
滑りやすい床



チラシ広告

字が小さい、
情報量が多すぎる



申込方法

手続きが面倒
書類が複雑



サービス

声かけ、サ
ポートが足り
ない

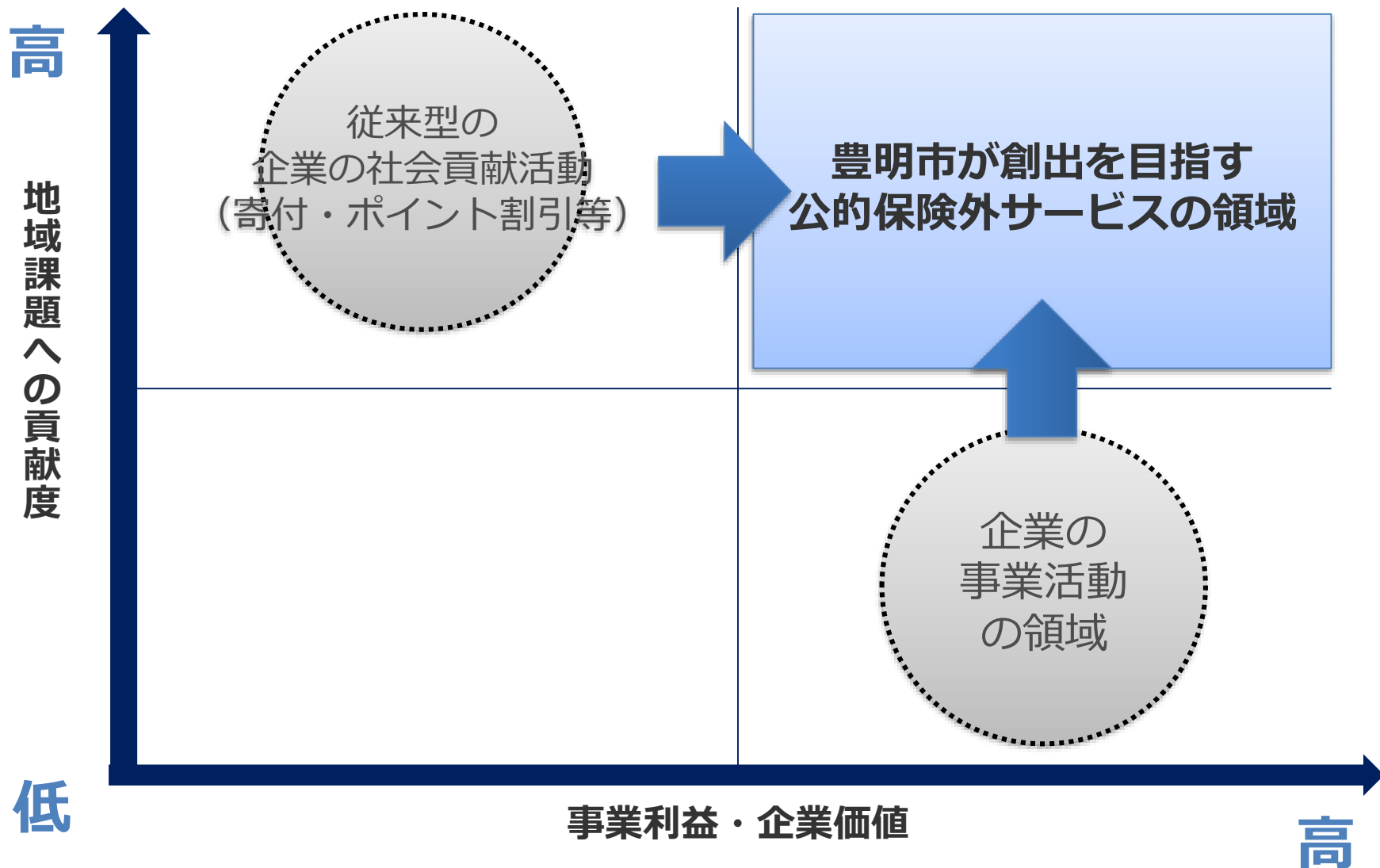


市職員、ケアマネジャー、理学療法士らとスポーツクラブの設備を確認

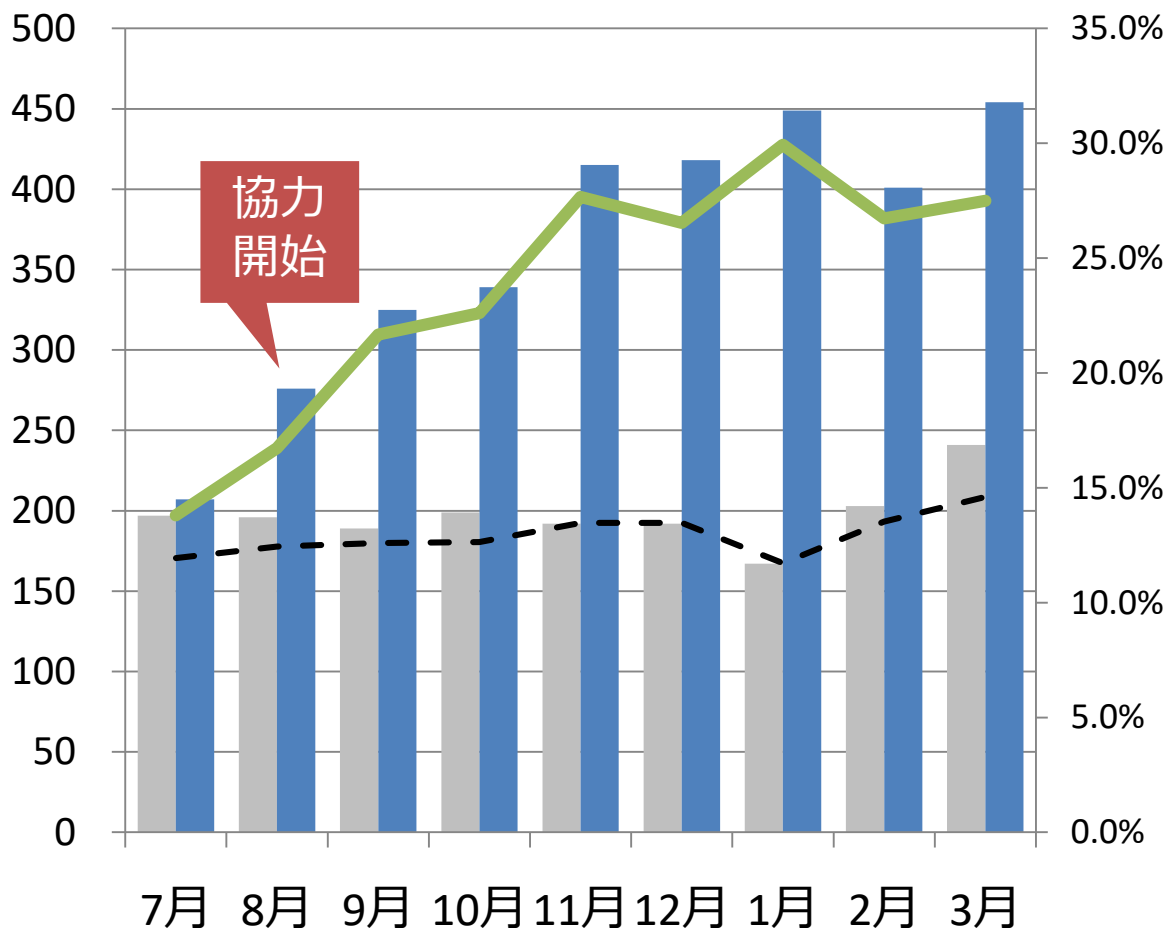
- ・トレーニング機器の負荷は
- ・階段の昇降は可能か
- ・スタジオプログラムは
- ・どういうPRが有効か



豊明市が目指す公的保険外サービスの領域



協力後の温泉施設送迎バスの利用者数の推移



協力開始（8月）以降

利用者数

2倍~2.5倍

（対前年比）

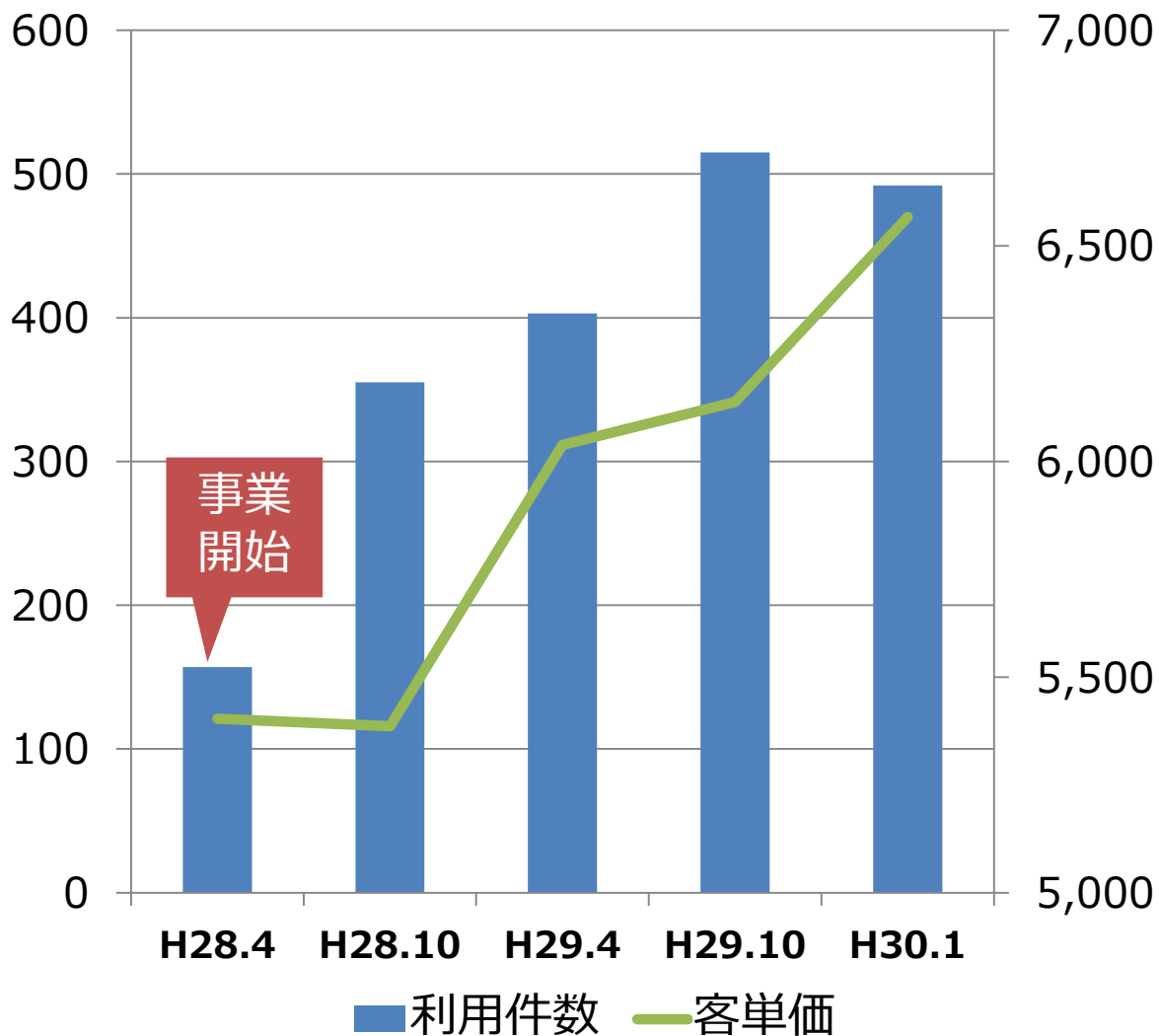
乗車率

2倍~2.5倍

（対前年比）

平成27年度 利用人数
 平成28年度 利用人数
 平成27年度 乗車率
 平成28年度 乗車率

協力後の「ふれあい便」の利用者数の推移



事業開始後

利用者数

3.2倍 (対事業開始月)

客単価

21%増 (対事業開始月)

～高齢者に移動の自由と健康を～ 民間主体の健康増進 乗合い送迎サービスの共同運行

平成30年7月24日より豊明市一部地域でサービス開始



病院



スポーツクラブ

オンデマンド乗合い送迎サービス
サービス名「チョイソコ」



スーパー



娯楽施設



クリニック



薬局



介護施設

介護保険サービス漬けにしない自立支援アプローチ

単なる介護保険サービスだけを組み合わせたり、介護保険サービスに利用者を当てはめたりするケアマネジメントから脱却し、その人に本当に必要な場所や支援を**介護保険に限定せず、幅広く探し、無ければ地域で創り出す発想へ**

これまで

訪問介護



ヘルパーによる買い物

通所介護



送迎してくれるデイサービスで機能訓練

これから

送迎付きフィットネス

公的保険

宅配サービス



送迎付きフィットネスジムで定期的に運動

駅前のスーパーまでの歩行・バスの乗車をリハ職による訓練

スーパーで自分で選んだ購入品は宅配サービスを利用

専門職に価値観の変化を起こせるか

価値観（幸せと思うこと）

サービスの「卒業」は気の毒だ
デイサービスに通うことで介護を予防する
個人まかせでは重症化するに決まってるから、
専門職がずっと関わり続けることが必要

医療・介護は本人にとっては非日常
できる限り、なじみの人や環境で気兼ねなく
暮らせるほうが幸せ
元の自由なふつうの暮らし（日常）に戻そう

支援の目的・方向性

なんとかして、介護保険サービスを利用してもらおう
できるだけ長く使ってもらおう

モラルハザードが起きる

ふつうの暮らしを長く続けられるよう、**活動的に生活**（廃用予防）し、
疾病の重症化を防ぐための、
習慣を身につけてもらえるよう支援

総合事業の本質は「**価値観を変えられるか**」に尽きる

豊明市が目指す地域包括ケアの方向性



できるだけ本人の「ふつうに暮らせるしあわせ」を支える
そのために役立つものを見つける、探す、無ければ創り出す





健康福祉部 健康長寿課 地域ケア推進係
E-mail : chiikikea@city.toyoake.lg.jp
TEL : 0562-92-1261
豊明市新田町子持松1番地1
<https://www.city.toyoake.lg.jp/>